

平成 23 年 5 月 11 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」の「年2回決算型」
2011年5月10日(第3回)決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「年2回決算型」の各コースにおける2011年5月10日(第3回)決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

第3期分配金 (1万口当たり、税引前)

・年2回決算型

円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
10円	10円	10円	10円

分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

2010年11月～2011年4月の運用経過

当期の米ドル建てエマージング債券市場(JP モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債」)は小幅下落しました(米ドルベース、以下同じ)。米国で11月初めに追加金融緩和政策が決定されたことを受け、インフレ観測から米国の長期債利回りが上昇した影響を受けました。また、各新興国におけるインフレ圧力の高まりや当局の金融引締め強化、北アフリカ・中東における騒動の拡大を受けた地政学的リスクなどが意識され、米ドル建て債の米国債に対するスプレッド(利回り格差)も若干拡大しました。ただし、投資家の高利回り債券選好が大きな衰えを見せることはなく、本年2月以降は、ユーロ圏の債務危機の再拡大や、日本での大震災の発生にもかかわらず、堅調さを取り戻しての推移となりました。また、現地通貨建てエマージング債券市場(JP モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド、以下「現地通貨建て債」)は、中東情勢に対する悲観的な見方が和らいだ3月以降、上昇ペースが加速し、新興国通貨が米ドルに対して堅調に推移したことも背景に、大幅なプラスの収益率となりました。

ポートフォリオは米ドル建てでわずかながらマイナスの収益率となりました。ウルグアイやメキシコの現地通貨建て国債、アルゼンチンやベネズエラの米ドル建て国債の組み入れなどがプラスに作用したものの、トルコやインドネシア、ペルーの米ドル建て国債の組み入れなどがマイナスに作用しました。

当期の主な投資行動では、米ドル建て国債の組入比率を削減し、米ドル建て社債やインフレ連動の現地通貨建て国債などに振り向けました。国別では、社債中心にベネズエラやカザフスタン、南アフリカの組入比率を増やしたほか、米ドル建て、現地通貨建て双方のハンガリー国債などを組み入れた一方で、トルコやブラジル、ポーランドの米ドル建て国債の組み入れを削減しました。通貨別では、米ドルの比率が若干低下し、一方でフィリピン・ペソや韓国ウォンなどのアジア通貨の比率が若干上昇しております。

期末時点のポートフォリオにおいては、国別では、トルコやアルゼンチン、インドネシアやベネズエラなどが組入上位国となりました。

中東の政治的緊張により、原油などの資源価格が上昇圧力を受けておりますが、一部の新興国にとって、資源価格動向はインフレのみならず成長の源でもあると考えられるため、インフレ圧力の上昇リスクが新興国全般の成長見通しを大きく損ねることにはならないと見ております。ポートフォリオでは、インドネシアやメキシコなど、旺盛な原材料需要による恩恵への期待から一層の通貨高が見込まれる資源輸出国の現地通貨建て債に焦点を当てているほか、米ドル建て債でも、アルゼンチンやベネズエラ、ロシアなどの資源輸出国に多くのエクスポージャーを有しています。一方で、トルコやウルグアイなど、資源を輸入に頼る国々については、インフレ連動債の保有により、インフレリスクの回避に努めております。

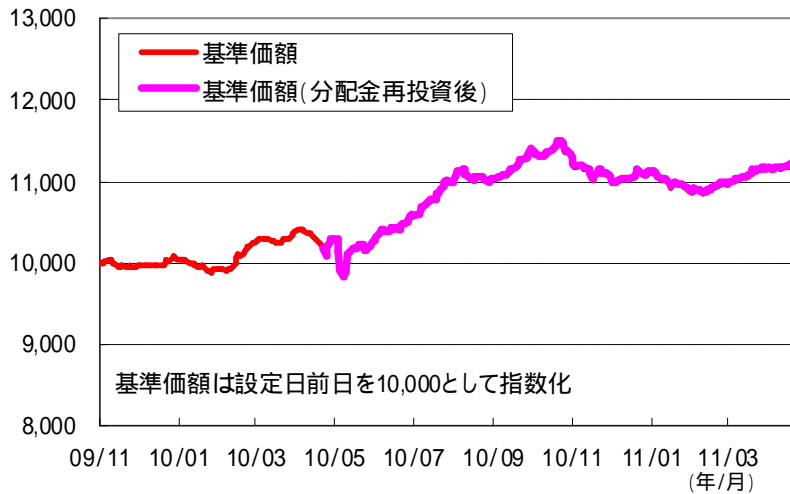
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍円建外国投資信託)は2011年4月末現在でエマージング債券の組入数は124銘柄、債券の組入比率は90.2%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

基準価額の推移 (2009年11月17日(設定日)～2011年5月10日)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

円コース(年2回決算型)



【直近5期の分配実績】

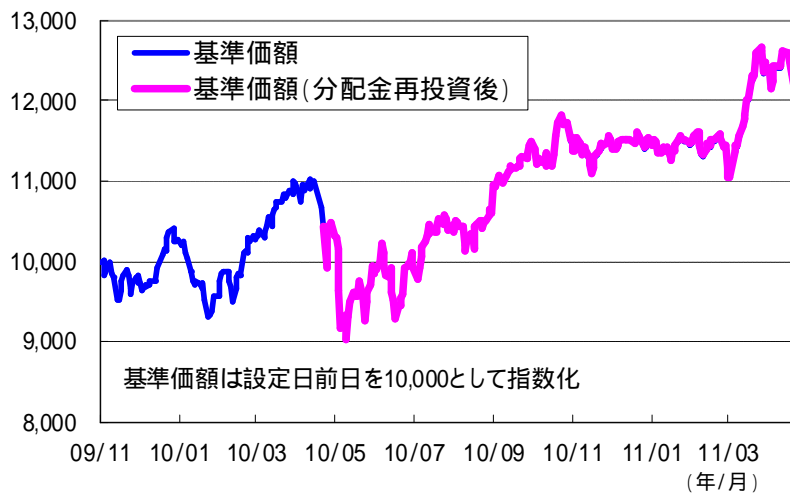
	決算日	分配金
第1期	2010/5/10	0円
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	
第5期	2012/5/10	
設定来		20円

1万口当たり、税引前

2011/5/10

基準価額	11,265円
純資産総額	6億円

豪ドルコース(年2回決算型)



【直近5期の分配実績】

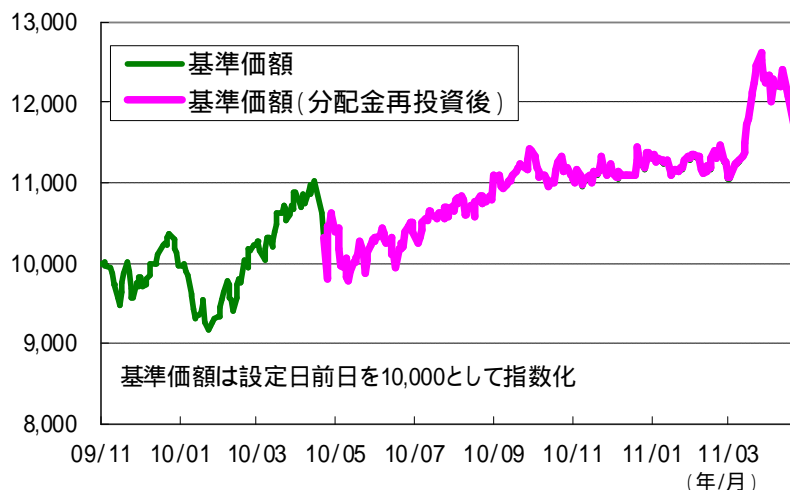
	決算日	分配金
第1期	2010/5/10	0円
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	
第5期	2012/5/10	
設定来		20円

1万口当たり、税引前

2011/5/10

基準価額	12,377円
純資産総額	8億円

ブラジルリアルコース(年2回決算型)



【直近5期の分配実績】

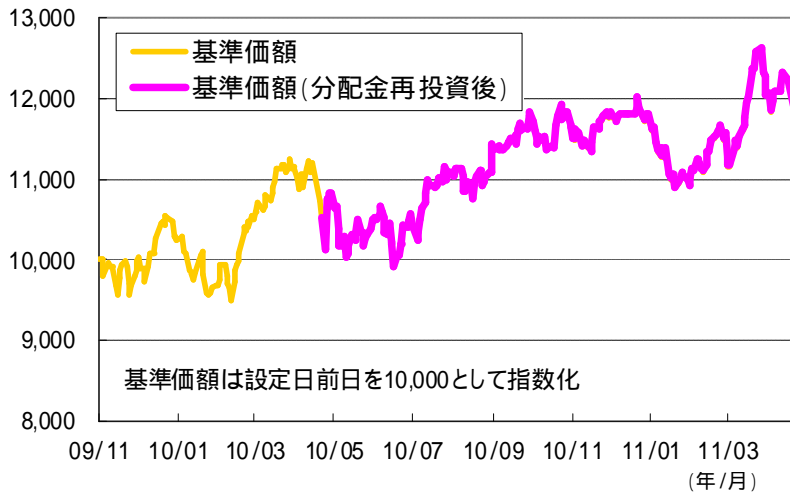
	決算日	分配金
第1期	2010/5/10	0円
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	
第5期	2012/5/10	
設定来		20円

1万口当たり、税引前

2011/5/10

基準価額	11,760円
純資産総額	36億円

南アフリカランドコース(年2回決算型)



【直近5期の分配実績】

	決算日	分配金
第1期	2010/5/10	0円
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	
第5期	2012/5/10	
設定来		20円

1万口当たり、税引前

2011/5/10

基準価額	11,987円
純資産総額	1億円

分配方針(年2回決算型)

毎年5月および11月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号			

加入協会に 印を記載しています。

本資料は投資者に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

当ファンドの投資リスクについて

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに生じた利益および損失は、全て投資者に帰属し、投資元本が保証されているものではありません。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。投資にあたっては、以下に記載したリスク要因を十分にご理解のうえ、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

- <各ファンド(マネープールファンド(年2回決算型)を除く)>
 「金利変動リスク」「信用リスク(クレジットリスク)」「カントリーリスク」「為替変動リスク」
 - <マネープールファンド(年2回決算型)>
 「金利変動リスク」「信用リスク」
- 当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時にご負担いただく費用

購入時手数料・・・購入価額に対して 3.15%(税抜 3.00%)
 (マネープールファンドのご購入はスイッチングによる場合のみとします。)

スイッチング時にご負担いただく費用

スイッチング手数料・・・購入価額に対して 1.575%(税抜 1.50%)
 (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)

換金(スイッチングのための換金を含む)時にご負担いただく費用

信託財産留保額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。
 (マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)

ご換金手数料・・・ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額

- 各ファンド(マネープールファンドを除く)・・・年 0.924% (税抜 0.88%)
- 実質的にご負担いただく信託報酬率・・・年 1.674%程度(税抜 1.63%程度)
 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)
- マネープールファンド・・・年 0.5775% (税抜 0.55%) 以内

その他の費用・手数料:

- 【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額
- 各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.0084% (税抜 0.008%)
- マネープールファンド: 年 0.00525% (税抜 0.005%)

【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。